

紫紺

〈題字〉故 花田 衛先生

2019年3月1日 第29号



発行
熊本学園大学付属中学・
高等学校 同窓会 紫紺会
編集
紫紺会広報・情報委員会

紫紺会事務局
〒862-0971 熊本市中央区大江2-5-1
熊本学園大学付属高等学校内
TEL&FAX 096-371-9333
(毎週火曜・水曜 13時~17時まで)
<http://www.shikonkai.com/>
shikon@lime.plala.or.jp
紫紺会公式facebookオープンしました!
事務局員：上坂 尚子 (19期)



剛気英知 気品知



Contents

- 同窓会長・学校長あいさつ2
- 高校活動報告・紫紺会入会式.....3
- 平成31年度総会&新春大同窓会4~5
- 平成31年度役員・代表幹事一覧6~7
- 支部・委員会・スポーツOB会活動報告
各期活動報告ほか.....8~10
- 飾馬奉納紫紺会活動報告
平成30年度奉納寄付一覧11
- 写真で振り返る紫紺会の一年12
- 高校創立60周年記念事業のお知らせ13
- 卒業生紹介14~15
- 平成31年度収支予算
事業計画・会費納入のお願い16



「紫紺会ルネサンス」をスローガンに新しい風を

熊本学園大学付属中学・高等学校同窓会 紫紺会 会長 長野 英子（15期）

同窓会の皆さまにおかれましては、ますます御健勝でご活躍のことと拝察申し上げます。去る、平成30年度同窓会定期総会におきまして、榎前会長の後任として皆さまからご推挙を賜り、第14代熊本学園大学付属中学・高等学校同窓会紫紺会会長を務めさせていただきますこととなりました第15期生の長野英子でございます。私共15期生は、男女共学1期であり、女性39名の共学も、今や2万人の会員数、男女ともほぼ同数と伺っております。そのような中、初めての女性会長として務めさせて頂くこととなり、歴代会長の築かれた歴史と歴史を考えますとその責任の重さを痛感し、身を引き締まる思いでございます。

さて、母校は創立60周年を迎え、新たな歴史を刻むべく躍進しており、目覚ましい発展を遂げてまいりました。その間、多くの優秀な人材を輩出し、企業や社会の各分野において活躍され、後輩のみなさまの活躍もめざましいものであります。同窓会の目的は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することとあります。その目的を達成するためには同窓生の輪を広めつつ繋がりを強め、同窓会の活性化を図ることが大切であります。その目的の下、「紫紺会ルネサンス」のスローガンを掲げ、新しい風を入れながら、幅広い世代が参加しやすい楽しい会にしていきたいと思っております。参加してみたい、参加してよかった、楽しかった、また参加したい、自分も母校のために何かできることはないかと思っております。まずは、今秋行われる、60周年記念行事が大きな課題であり、その成功に向け、記念式



典・祝賀会等、学校と共に準備を進めていきます。また、同窓会初の60周年記念誌を発行し、これまでの歴史を綴ると共に在校生の皆様にもエールを送りたいと思っております。ただ、その活動の元になつております年会費の納入に關しましては現在約3・5%の納入率です。大同窓会・年祝いの会初め、先輩方から青年部、各期・各支部の同窓会等たくさんの方が参加できるようなイベントを行っていくために年間必要とされる経費分は、皆様の年会費で運営していただけることを目標にし、年会費納入率10%を目指し、数年後・数十年後には同窓会会館の建設ができるような始まりの年にしていきたいと思っております。会員の皆様には、こうした同窓会を巡る状況にご理解を頂き、各事業への参加、年会費の納入等、同窓会への一層のご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。1期2年の任期を、役員のみならず共に精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。結びになります。が、会員のみなさまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

紫紺の絆をより強く

熊本学園大学付属中学・高等学校 校長 堤 豊

紫紺会会員の皆さま、平素より本校の教育・運営にあたっては深いご理解と暖かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

昨年4月1日付で第10代の校長として赴任いたしました。平成12年に熊本学園大学商学部情報処理担当の教員として着任以来、大学生を相手にプログラミングやサイバー防犯ボランティアの指導などを行ってきました。大学生とも世代ギャップを感じながらの教授生活でしたが、さらに若い高校生・中学生を相手に奮闘する毎日を送らせていただいております。なにごと、浮世離れた研究生生活に浸かつてのこれまででしたので、教員・職員・保護者そして同窓会の皆さまには、多大なご迷惑をおかけするかと思いましたが、暖かく見守っていただければ幸甚に思います。

高校は4月に第60期生416名が入学いたしました。入試の倍率も最近では最も高く、これもひとえに、同窓生の皆さまのご活躍の賜物と感謝いたします。しかし、一方で、あまりに合格最低点が高くなり、31年度入試においては受験を躊躇し受験生が減ることが危惧されます。私立高校としての宿命ではあります。年度ごとの受験倍率の平準化をいかに実現し、かつ緩やかにレベルを上げていくことが課題です。中学におきましては、本年度は8期生73名が入学しました。定員は80名ですが、近年の公立中学校での1クラス当たりの生徒数が35名程度であることを考慮し、入学生徒数を厳選しております。31年度入学生となる9期生の選抜試験もすでに12月に奨学・専願の試験が行われ、昨年度より20名多



い180名がチャレンジし、徐々に狭き門になつてくる現状です。

さて、校長に就任してからの10ヶ月、本校には紫紺会の皆さまから、様々なご支援をいただきました。建設紫紺会様からの吹奏楽部へのご支援、紫紺文庫の会様からのご寄付、また紫紺経済同友会様からの表彰など、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。これらのご支援は、機会あるたびに生徒や教職員に伝えてまいります。一方で、生徒たちにより身近に紫紺会の皆さまからのご支援を感じてもらいたいというのが私の就任以来の課題でした。このたび、紫紺会役員の方々の協力により、紫紺の絆寄付金制度を創設させていただきました。ご支援ができました。また生徒たちが感謝の気持ちを伝えられるような機会も設けたいと考えております。何卒ご支援をお願いいたします。

秋には60周年記念イベントも企画しております。同窓生の皆さんと在校生・教職員との絆をより強く結ぶべく、邁進してまいります。3年間の任期中どうぞよろしくお願ひいたします。

中高活動報告

「若草匂う託麻野の紫紺の空に
大阿蘇の」

平日、夜7時20分になると、校内に校歌が流れます。下校を促す合図です。教室やロビーなどで自習をする生徒は帰り支度を始め、部活動を終えた生徒もそれぞれ自転車や徒歩で家路につきます。こうして本校生徒の一日の学校生活が終わります。早朝7時半の課外から12時間が経っていることになります。校舎は変わっても、変わらぬ本校生の学びの姿がここにあります。

平成30年度の在校生は、中学校197名、高校1226名、学級数は中学6、高校32です。男女比は中学が4対6、高校はほぼ半々といったところです。

大学入試では、国公立大学に116名（うち現役生は84名）、私立大学に延べ559名が合格しました。主な合格大学は、国公立では熊本大37名、熊本県立大19名、鹿児島大10名、長崎大、佐賀大各4名、九州大、北九州大各3名、広島大、福岡教育大、山口大、宮崎大各2名、千葉大、神戸大、大阪府立大、東京学芸大、首都大東京、九州工業大各1名などでした。また、私立大学では熊本学園大102名、福岡大47名、崇城大43名、西南学院大26名、熊本保健

科学大23名、立命館大14名、中央大12名、法政大10名、同志社大9名、関西大8名、明治大5名、立教大、青山学院大各4名、早稲田大、慶應義塾大各2名、上智大1名などでした。

部活動においては、6月に開催された県高校総体で、ボート男女舵手付きクオドルプル、女子ダブルスカル、男子シングルスカル、テニス女子団体、弓道女子団体、体操男子団体・個人、体操男子種目別で優勝。県高校総文祭では、囲碁個人戦2位となり、全国大会に出場しました。

また、県中体連で体操部が団体初優勝、吹奏楽部が県吹奏楽コンクール金賞、理科部が熊本県科学展示会で熊本県立教育センター賞を受賞しています。

施設面では、2020年大学入試改革・教育課程再編に対応した環境整備を進めています。既に、中学、高校1・2年の全教室に大型提示装置（電子黒板等）を設置し、授業の効率化、板書内容の高度化を図っています。今年度より中高全エリアに無線LANを整備し、生徒の調べ学習などに利用しています。

また、校務支援ツール「Cassini」を導入し、ポートフォリオや生徒の学習記録の把握、生徒・保護者とのコミュニケーションなどに役立てています。今後も生徒に主体的な学びができるような環境整備と教育活動の充実を図っていきたく考えています。



▲2015年3月に完成した高校の4階建て新校舎

紫紺会入会式

紫紺会では毎年3月、高校体育館で卒業生を対象とした紫紺会入会式を開いており、同窓会長はじめ会の役員が出席し、自己紹介や各委員会の活動報告をした後、同窓会長が各期卒業生の代表幹事に委嘱状を贈呈。また、広報・情報委員会からその年に発行する紫紺会報を卒業生全員に配布しています。



第14代会長に15期生の長野英子さん

初の女性同窓会長が誕生、

「紫紺会に新しい風を！」



全国各地から同窓生ら約400人が参加した新春大同窓会

去る1月26日、熊本市中央区の熊本ホテルキャッスルで2019年度の通常総会と新春大同窓会が開かれました。

総会では新年度の事業計画と収支予算案を審議し承認。役員改選では第14代会長に15期生の長野英子さんを新任しました。その後は関東や関西、福岡をはじめ全国各地からの同窓生や先生方など約400人が参加し懇親会パーティーに移り、はじめに長野会長が「本年は高校創立60周年の記念すべき年。9月26日には高校と連携し記念イベントを開くほか、60周年記念誌も発行する。『紫紺会ルネサンス』をテーマに同窓会へ新しい風を入れながら幅広い世代が楽しく参加できる会として、さらに盛り上げていきたい」とあいさつ。その後は幸田亮一熊本学園大学長による音頭で乾杯に移り、会場は



堤豊熊本学園大学付属中学・高校長



「今年は高校創立60周年の記念事業が控えている。紫紺会に新しい風を入れながら大いに盛り上げていきたい」と抱負を述べる長野英子会長。初の女性同窓会長で任期は2年



目黒純一(学)熊本学園理事長



幸田亮一熊本学園大学長



最後まで満杯の同窓生で大いに盛り上がっていました。



大同窓会の司会を務めた中村由紀子さん(=左、34期生)による進行で大いに盛り上がった毎年恒例の抽選会。旅行券や商品券など豪華賞品を提供した



優秀な成績を残した体操部・弓道部・放送部・囲碁部に奨励賞を授与する長野会長(左)



会場を魅了した吹奏楽部による演奏



2年間の会長任期を終えた榎主税さん(14期生)に感謝状を贈る長野会長(左)

40期以降の若手同窓生も多数出席した



旧交を温める1～2期生の同窓生



先生方も多数出席し、久しぶりに再会した同窓生とにぎやかに歓談した



「若草匂う 託麻野の…」出席者全員で校歌を斉唱し会を締めくくった



2019年度の通常総会。新年度の事業計画と収支予算案を審議し承認したほか、役員改選も行った

平成31年度 紫紺会役員



前列左から、馬原隆副会長兼財務委員長、吉村浩之副会長、長野英子会長、木村光男副会長兼60周年実行委員長、桑原幸津江副会長兼事業活動委員長。後列左から、三浦勲監事、田中博康経済同友会委員長、村上康彦事務局長、佐伯昇治広報・情報委員長、金澤一弘代表幹事長兼60周年実行副委員長、宮本祐樹飾馬奉納実行委員長、前川浩幸監事、平木邦昭監事、嶋村拓二郎青年部委員長、前田記代子財務副委員長。枠内は古閑知子副会長兼事業活動副委員長

委員会等	役職	氏名	期
会長		長野 英子	15期
副会長		木村 光男	16期
		馬原 隆	17期
		吉村 浩之	19期
		桑原幸津江	25期
		古閑 知子	26期
	事務局	事務局長	村上 康彦
事務局次長		村田 護親	32期
〃		奥村 誠基	33期
〃		中村由紀子	34期
〃		山本 剛	34期
書記長		田尻祐充子	21期
〃		小島 友希	33期
事務局員		上坂 尚子	19期
参与		堤 泰之	32期
監事		平木 邦昭	14期
		前川 浩幸	18期
		三浦 勲	23期

委員会等	役職	氏名	期
代表幹事会	代表幹事長	金澤 一弘	15期
	副代表幹事長	石本 敏明	9期
	〃	山本 宣房	15期
	〃	田上 明裕	29期
	〃	檜橋 一玄	34期
	〃	眞弓 知也	48期
財務委員会	委員長	馬原 隆	17期
	副委員長	前田記代子	15期
	委員	永松 豊	16期
	〃	木下 知香	24期
	〃	古閑 知子	26期
	広報・情報委員会	委員長	佐伯 昇治
副委員長		志水 和幸	18期
〃		原田 佳英	35期
〃		佐藤マリア	37期
委員		宮崎 常	39期
〃		齊藤 弘美	40期
参与		大島 栄祐	40期

委員会等	役職	氏名	期
事業活動委員会	委員長	桑原幸津江	25期
	副委員長	上村 元三	16期
	〃	古閑 正一	24期
	〃	古閑 知子	26期
	委員	小田 勝也	19期
	〃	三森 至加	22期
	〃	八ッ波美和子	22期
	〃	藤井宥貴子	22期
	〃	野村 弘恵	25期
	〃	本山 玲子	25期
	〃	吉富ますみ	36期
〃	参与 藤本 博之	29期	
経済同友会	委員長	田中 博康	19期
	副委員長	西上 佳孝	25期
青年部委員会	委員長	嶋村拓二郎	41期
	副委員長	榎 崇文	40期
	〃	塚本 龍一	47期
	委員	内田 雄也	37期
	〃	永廣 一晃	39期
	〃	道山 明香	42期
	〃	井上 慶一	46期
〃	冨田 修成	46期	

委員会等	役職	氏名	期
飾馬奉納 実行委員会	委員長	宮本 祐樹	38期
	副委員長	加藤 誠貴	37期
	〃	渡邊 憲輔	39期
60周年 実行委員会	委員長	木村 光男	16期
	副委員長	金澤 一弘	15期
	〃	寺本 光秀	22期
	〃	木下 知香	24期
	〃	吉川 久美	24期
	委員	笹路久美子	15期
	〃	山崎 幸恵	17期
	〃	小田 勝也	19期
	〃	末富 仁美	24期
	〃	西岡ゆかり	24期
	〃	山室 圭子	24期
	〃	森山希倫子	24期
	〃	鎌田 剛	30期

紫紺会 代表幹事一覧

期	卒業年	名前	期	卒業年	名前	期	卒業年	名前
1	S37	立川 惠之助	20	S56	崎坂 浩行	39	H12	永廣 一晃
2	S38	今村 宏	21	S57	中山 貴夫	40	H13	久富 信夫
3	S39	井手 和洋	22	S58	寺本 光秀	41	H14	渡辺 陽一
4	S40	坂元 邦彦	23	S59	川口 修	42	H15	豊田 隆志
5	S41	工藤 博	24	S60	白石 隆	43	H16	矢田 琢磨
6	S42	白野 国久	25	S61	西上 佳孝	44	H17	吉住 勇作
7	S43	前田 英治	26	S62	松岡 衣美	45	H18	松下 翔織
8	S44	和田 信一	27	S63	鈴木 浩二	46	H19	大倉 志織
9	S45	石本 敏明	28	H1	水田 貴光	47	H20	塚本 龍一
10	S46	本田 順治	29	H2	田上 明裕	48	H21	眞弓 知也
11	S47	伊瀬知 裕	30	H3	廣末 好信	49	H22	白角 勇介
12	S48	臼杵 和孝	31	H4	出先 教明	50	H23	上坂 萌子
13	S49	佐伯 昇治	32	H5	西本 光一郎	51	H24	中野 翔梧
14	S50	宮本 亘	33	H6	池本 千寿	52	H25	上坂 暖子
15	S51	前田 記代子	34	H7	植田 真功	53	H26	澤田 拓巳
16	S52	村田 敬治郎	35	H8	林 信介	54	H27	長濱 美優
17	S53	松江 由美	36	H9	高松 大輔	55	H28	宮崎 真吾
18	S54	志水 和幸	37	H10	内田 雄也	56	H29	井田 彩心
19	S55	伊津野 浩	38	H11	山口 敦司	57	H30	今村 拓詩

紫紺会支部・委員会活動報告

事業活動委員会

平成30年度委員長

藤本 博之(29期)

2019年1月26日、新春大同総会を無事に終えることが出来た。これもひとえに役員をはじめ代表幹事の方々、先輩、後輩の皆さん、そして事業活動委員会の仲間の協力で成し遂げられたと思っております。

『楽しい紫紺会』を目標に活動した、あつという間の2年間でし

青年部委員会

平成30年度委員長

榎 崇文(40期)

青年部は40歳までの若手会員を中心に活動しています。平成30年8月には江津湖畔の「江藤ボートハウス」で若手交流会（BBQ）を開催。50人が参加し、高校時代や仕事などの話をしながら交流を深めました。

また、平成26年から年2回開催していますゴルフコンペ（全会員参加OK）が10回目を迎えました。4月の第9回（チェリーG宇土コース）は川上博志先輩（13期）、11月の第10回（司ロイヤルGC）は西栄一郎先輩（11期）が優勝されました。

た。色々な委員会や同窓会活動に参加させてもらい、大変貴重な経験をすることが出来ました。最後になりますが、2年間事業活動を支えていただき、本当にありがとうございます。



紫紺経済同友会

事務局 堤 泰之(32期)

紫紺経済同友会は平成30年5月28日（月）に熊本市中央区水前寺の「松屋本館」（25期 西上佳孝社長）にて総会を開きました。前年度の事業・会計報告を行い、30年度の計画の承認を受けるとともに役員の一部改選が承認されました。また、総会と併せて古希を迎えられる7期の会員の方々、還暦となられる16期の会員の方々の懇親会にて祝いました。

近年では高校OBによる経済交流団体も紫紺会に加え、真和、千原台、第二高校、九州学院の5校

となり、毎年合同例会やスポーツ例会を持ち回りで行う等ますます活発な活動を行っております。母校及び他校の先輩後輩との交流を通じて、経済人としての人脈拡大を希望される卒業生の参加をお待ちしております。



古希や還暦を迎える同窓生らを懇親会で祝う毎年恒例の「年祝いの会」



12月にはゴルフコンペの参加費の一部で、知的障害児施設「大江学園」にお菓子のクリスマスプレゼント

平成31年は嶋村拓二郎委員長（41期）にバトンタッチし、新たに若手会員の活性化を図っていきますので、宜しくお願ひ申し上げます。



50人が参加した若手交流会BBQ

福岡支部

松永尚宏(29期)

紫紺会会員の皆様、29期の松永尚宏と申します。本年もよろしくお願ひいたします。

福岡で活動を始めて3年経ちました。在福の会員に集まっていたいただき、春の花見会を3回、年度末の集まりを2回行うことが出来ました。しかしながら皆さん他の都府県への異動が多く、いつの間にか転動されていたという事が少なくはありません。回数は少ないですが継続してイベントを行うて、5年目にはある程度大きな規模で企画をと思っております。会員の中で福岡に転動になったとかご子息が福岡に進学というお話が

ございましたら是非是非、福岡に支部がある事をご周知いただくと同時に、ご一緒にイベントへの参加をお待ちしております。告知は紫紺会HPまたはFBで行っておりますので、ご覧になっていただければ幸いです。本年度も皆様のご協力を頂きながら支部活動を上げていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。



東京紫紺会

事務局広報

白石 恵子(22期)

平成30年は東京紫紺会も期代表を導入しました。3期から57期まで21名が各期の核となり、集結力強化と現状脆弱である若年層の拡大を更に進めて参ります。

会員各位の声掛けと松本悦子先生初参加もあり、2月2日開催の総会・新年会は過去最高の参加数となりました。初試みとして世代混合チーム対抗でのクイズ大会を行ったところ、初対面の先輩後輩の距離が一気に縮まり、同窓会の楽しみがまた増えた気がしました。他にも、女子会、ゴルフコンペ、屋



2月2日に開催した新年会。熊本からも多数参加し、関東在住の同窓生らと交流の輪を広げた

宅建紫紺会

会長 山田 高大(34期)

1月29日の総会で宅建紫紺会の会長を拝命しました34期の山田高大でございます。おかげさまで昨年、宅建紫紺会は創立30周年を迎えました。先生方・紫紺会関係の方々にも多数パーティーにご出席頂き、誠にありがとうございました。

会員さんは、不動産業者をはじめハウスメーカー、弁護士・司法書士・土地家屋調査士など関連業種の方々が46社が在籍しております。物件交換会や花見、暑気払い、研修旅行など、年間を通じて

形船での暑気払いの会と多様なイベントを開催し、関東圏での同窓生交流を楽しんでおります。

平成31年度東京紫紺会 幹事会

卒期	氏名	役職
12期	宮本 恭一	会長
18期	吉若 誠二	副会長
18期	本田 光二	幹事長
23期	坂田 剛	事務局長
31期	佐藤 研吾	副事務局長
23期	小林喜代美	女性部部长
40期	寺尾 舞	女性部副部长・会計
7期	松井 清	監査
8期	堺 亜琉	シニアアドバイザー

さまざまな行事を企画し、交流を深めています。本会をより活性化させ、特に若手が活躍できる場をつくる事に努め、会員同士のビジネスにつながる会として盛り上げていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。



昨年10月に催された研修旅行

野球部OB会

会長 池本 哲二(31期)

第100回の記念大会への出場を目指した今年の野球部58期生でしたが、ベスト8進出を果たした東稜高校に、初戦で延長戦の末に敗退。6月のNHK期でベスト4へ進出し、甲子園初出場を期待されていただけに大変残念な結果となりました。

一方、21回目を迎えた熊本県高校野球OB大会では、第1回大会以来熊本市内予選を突破。藤崎台

飲食紫紺会

会長 早川 誠(4期)

飲食紫紺会は飲食関係者の同窓生と紫紺会役員の方々の協力のもと創立されました。立ち上げて3年、振り返ってみますと、熊本地震という未曾有の災害にみまわれた中で、震災復興激励会、飲食店マップの発行、はしご酒大会と、交流を深めながら紫紺会のバックアップのもと、震災復興と共に歩んでまいりました。

今年、世界ラグビー、世界女子ハンドボールなどの世界大会がこの地で開催されます。私共飲食紫紺会としても、熊本の食に関わる立場からそのおもてなしに少しでも貢献できるように、組織の充実を図りたいと考えています。

そうした活動を通して紫紺会の発展に少しでも還元できることを

球場で行われます県大会(ベスト8)に出場しました。熊本県は、全国でも群を抜いて出場チームが多く、特に熊本市内は強豪校が多く激戦です。よって20年間、惜敗を続けてきたのですが、最近の学付OBチームは、動ける若手選手が増えたことと、先輩後輩の隔たりがなくなったことで、優勝を狙える戦力となりました。今年も多良木高校OBに3対4で敗れましたが、来年こそは甲子園出場を狙います。現役共々、応援よろしくお願いたします。

願い、その活動を広げていきたいと思っております。これまでの皆様のご協力に心より感謝しつつ、今後共、末永く応援していただきたく思います。



飲食店マップの発行を機に2016年から年に2回開いているはしご酒。同窓生が経営する店を回りながら酒や食事を楽しむ恒例イベントになっている



第21回熊本県高校野球OB大会

学付バドミントン部OB会

会長 宮村 勇二郎(23期)

昨年4月6日、本校バドミントン部の生みの親であり、全国大会優勝を4度も成し遂げた強豪校へ導いてくださった、恩師本郷節夫先生がお亡くなりになりました。

このことを受け、本校バドミントン部OB会は県バドミントン協会共催のもと、7月21日に熊本ホテルキャッスルにて「本郷節夫先生を偲ぶ会」を開催しました。当日は学校法人熊本学園理事長の目黒純一様をはじめ、公益財団法人日本バドミントン協会専務理事 銭谷欽治様、ヨネックス株式会社代表取締役社長 林田草樹様にご参加いただき、また多くの学校関係者並びに協会関係者の皆様にご臨席を頂きました。また全国から多くのOBの皆様にもご参加を頂き、しめやかに開催できましたことをこの場をお借りし心よりお礼申し



本郷先生を偲ぶ会(7月21日)

上げます。

例年の活動として、毎年1月2日に行う新年初打ち会と夜の懇親会は、多くのOBの皆さんにご参加を頂き盛会に終わりましたが、夏に開催している夏季懇親会は「本郷節夫先生を偲ぶ会」を開催したため開催しませんでした。また、12月2日県立総合体育館で開催された「本郷杯クラブ対抗バドミントン大会(県バド協会主催)」の後援(運営の手伝いや景品の授与など)は例年通り行い、当日は県内から多くのチームが参加。白熱した試合が繰り広げられました。

昨年も現役生から「熊本県高等学校選抜大会個人ダブルス優勝!」という報告が届きました。



新年初打ち会(1月2日)

今年是全国高校総体南部九州大会が開催され、熊本県はバドミントン開催県(八代市)となります。この吉報を機に、個人戦だけではなく団体戦も「出場!」となるようOB会として一層支援して参りたいと考えております。卒業生の皆様におかれましては、何卒ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。



三十七期卒業二十周年記念同窓会

代表幹事 内田 雄也(37期)

平成30年12月30日、KKRホテル熊本にて卒業20周年記念37期生同窓会を開きました。幹事グループを中心に、約1年前から準備をスタート。当日は地元熊本をはじめ福岡、東京などから帰省した同窓生60名が出席。恩師の猿渡攻先生、松本悦子先生も駆けつけてくださいました。医療、建築、飲食、仕業などさまざまな分野で活躍している37期生。卒業以来20年ぶりに再会したという同窓生同士もいて、みな時間を忘れ、懐かしい思い出話に花を咲かせました。



猿渡先生、松本先生を交え62名が参加した37期同窓会

一期同窓会



昨年11月11日に熊本市西区二本木のホテル本陣で開催した1期生同窓会。ホテルの広々とした庭を会場にバーベキューを楽しみながら歓談した

九期同窓会

代表幹事 石本敏明(9期)

平成30年4月5日(木)、ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイで、栗屋先生および猿渡先生を交え、総勢44名にて同窓会を実施しました。昭和45年卒業にこだわり、同窓会の実施日は毎年4月5日、幹事はA組からF組までの輪番制となっておりません。現役でまだまだ働いている人、悠々自適に生活をエンジョイしている人など、さまざまです。和気あいあいの中、全員で紫紺会応援歌および校歌を歌い、再会を誓い合っていました。



総勢44人が集まった9期同窓会

藤崎八幡宮秋季例大祭

想いを紡ぎ、新しい時代をつくる

「紫紺の伝統」

紫紺会第41代隊長 嶋村拓二郎

飾馬奉納紫紺会第四十一代隊長を務めさせて頂きました嶋村拓二郎と申します。

まず、藤崎八幡宮秋季例大祭で紫紺会として奉納するにあたり、関係者の方々には多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

私が初めて飾馬奉納紫紺会に関わらせていただいたのは、2年前の副担当期の時でした。それまで私は、例大祭に参加した経験が無く、ご指名いただいた当初は、お引き受けしていいものかと大変悩みました。しかし、それまで関わっていた紫紺会青年部での活動で学んだ「先輩方が造ったものを後輩が引き継ぎ、伝統として守り受け継ぐことの大切さ」、先輩方の祭りへの思いなどを聞くうち



に、それまでの悩みが一気に隊長を務める意欲へと変わってきました。また、背中を押してくれた心強い同級生の存在もあり、副担当期から担当期までの2年間を務める決心に至りました。

副担当期の1年間は、四十期の先輩方に優しくご指導いただきながら、祭りのいろはを学ぶと同時に、同級生に対し翌年の飾馬奉納紫紺会で担当期として活動することを周知することから始まりました。そのためにも、四十一期の中で実行部隊を結成。会議や懇親会を重ね、2017年の年末にホテル日航熊本で四十一期同窓会を開催しました。

翌年、集った仲間たちと共に担当期の年がスタート。テーマを「新しい時代を作っていく」という意味を込め「新たな紫紺」に決め、担当期の目まぐるしい業務に取り組んでいきました。度重なる会議や懇親会、寄付集めや挨拶回り、慰問、日々の参加者受付。本祭の日が近づくと、高校OB連合会前夜祭や御旅所清掃、そして前々日の飾卸まで、驚くほど順調に準備や行事が進み、9月16日(日)、本祭当日を迎えました。

早朝4時に学校集合。出発式を終えると朝随兵に向け出発。担当期として役割を果たすことに必死になっていると、気づけば朝随兵は終わり、御旅所に到着

していました。御旅所には、朝随兵に参加できなかった同級生も駆けつけてくれた子どもにも喜んでもらおうと準備したキャラメルポップコーンは、大人にも大変喜んでもらえました。

夕随兵がスタートし、藤崎八幡宮まで残りわずかになった時。担当期が四十一期である証のワテを首に巻き、紫紺の半纏を纏い一斉に盛り上がりつつある風景は、これまでの日々を思い出し感動を覚えるとともに、今この時のみでなければと、どこか寂しくなる思いでした。

高校卒業後、再び同級生で何かをやり遂げる経験ができたことは、最高の思い出です。今後は、次の担当期になる42期をしつかりサポートし、「紫紺の伝統」を繋げていくことに尽力する所存です。

41期として入学・卒業し、今回共に「紫紺の伝統」を紡いでくれた同級生がいてくれたことを本当に思います。41期みんな、本当にありがとう!!



◆平成30年度奉納寄付一覧◆ (敬称略 順不同)

下通繁栄会、燈、オツジ・ミラノ松野龍也、熊本内科病院、(尙サ・ベイクド・ポテト、鳥亭、(尙)ピーカンバーニー ブラチナ、15期 島村昌宏、熊本駅構内タクシー 7期 稲葉伸一郎、熊本トヨペット(尙) 6期 齊藤直信、東亜シルク(尙) 4期 長野和男、(尙)吉田整形外科製薬所、(尙)宮宮 ホテルオークス、(尙)熊本ホテルキャッスル、(尙)カネムラエレクトロニクス、(尙)前田産業 6期 木村洋一郎、紙弘 深浦社長、オーシャンズ7、ラトゥール、旭タクシー(尙) 25期 赤池憲悟、明和グループ川口 圭介、明和グループ川口 英之介、第一ビルサービス 31期 林田公治、(尙)ブレイン おはこ 平野正樹、(尙)うしじま酒店、(尙)リアルサービス 32期 堤泰之、山室 昭憲・純、(尙)坂本哲志、(尙)つむぎ屋 8期 前田潮、(尙)ファーマダイブ 8期 岡山善郎、(尙)鳥井、木谷建装、西山塗装 西山公英、大日本塗料(尙)、九州エネルギー協同管理、AGCコーテック、ヒバリ、築、(尙)日の丸産業、杉島土地家屋調査士事務所、永田ツアーデスク、(尙)相生プランニング 豊原新吾、RACコーポレーション 山代眞貴、(尙)newBAUデザイン、九研工業(尙) 11期 佐藤秀敏、(尙)パワース酒とめし RIKI、15期 家入浩一、15期 富田 伸、サ・ニューホテル熊本 17期 家入孝夫、17期 岩尾隆一・久富康仙・前田浩一・高見・前田・江上泰弘・松江・岡村・内田、オフセット、17期 田野辺 隆史、菊陽自動車学校 17期 野上 武、16期 山本孝二、焼鳥呑みてい 25期 木村圭治、魚幸 18期 都甲憲治、熊本大同青果(尙) 18期 月田潔孝、(尙)夢工場 16期 徳永雅三、18期 奥名克美、ライフプラザ、キャサリンズ's BAR 19期 藤本清美、紫紺経済同友会、15期 長野英子、10期 原 亨、(尙)ココロ 酒造恵之助、田邊由美子、不動モータース、(尙)馬場石油、ウエルディングガス(尙)熊本営業所、アレスト 江頭由佳、シャリマー、寿司・懐石 火の国、こめ&葡萄 22期 ハツ波美和子、ピンクウォーター、ピンクウォーター 猿渡由紀、ピンクウォーター 石崎、双葉タクシー 3期 石崎公士、松屋本館 25期 西上佳孝、(尙)村田自動車 3期 村田誠一、22期 緒方孝則、九機工業(尙) 6期 梨子木和秀、ドライマティニー、ひかりタクシーグループ 22期 寺本光秀、ミスJJ 岡村彰子、佳山、炭火焼 三笠 16期 田崎伸也、(尙)こざき 13期 古崎正敏、27期 鈴木浩二、熊本建物(尙)、熊本旅行(尙)、松本司法書士、(尙)魚島生駒 志垣昌一郎、上林工業(尙) 4期 上林節郎、(尙)愛住宅 29期 前田年哉、(尙)ココロ不動産 34期 山田高大、明和不動産 31期 福味昭二、司法書士井上事務所 46期 井上慶一、(尙)みた商事 22期 中林文重、30期 平田、司法書士 嶋田事務所、宅建紫紺会、(尙)杏仁会 青明病院、江南病院、介護老人保健施設 フォレスト熊本、6期 中島和夫、瑞鷹(尙) 30期 吉村謙太郎、クリーニングのフレンド 27期 内田貴夫、熊本全日空ホテルニュースカイ紫紺会 24期 古閑、熊本全日空ホテルニュースカイ紫紺会、スナックいぶき、NPO法人 くまもと福祉フードタウン 29期 岡田聡二郎、(尙)タウン開発 30期 前田尚毅、社会福祉法人 博心会 30期 渡邊太郎、ボーラ化粧品熊本中営業所 2期 西村隆一郎、ムラユキ電器 30期 村上隆史、(尙)エス・エス・齋藤、(尙)サニーコーポレーション 菅聖、ワタナベ歯科医院 32期 渡邊悟朗、社会福祉法人 環友会、テイクス、30期 松川優子、(尙)マリゴールド 31期 齊藤潤一、資産総合鑑定(尙) 12期 西川毅彦、QUATTRO有馬拓郎、31期 池本哲二、31期 安武光輝、ニュー天花 井上、スナック明星バンチ、(尙)南米開発 17期 斉藤 忠、黒木鑑定事務所、Jian 綾部健司、(尙)ハイコム 甲斐達也 (au熊本下通店)、ナナイロ、31期 米村、31期 永田、天真爛漫、トラットリア フェデリコ オアヴォ、(尙)セナリスト おしよしよ、ヴァニラグッドスタッフ 日野源男、米田自動車、入江タクシー 10期 入江崇俊、銀杏釜めし 5期 藤田 等、メンバーズ ウィンズ、ありさ、ダイキンHVACソリューション九州(尙)、三葉電機工業、エース産業、プレリウド、ピピッド、メンバーズ英 (はな)、温石、トリツバ、円の家 24期 西岡、ありす、らぼん、山本秀徳、GENnBA 塚本邦裕、BARBLUE、オーシャンズセロ、天野屋書店、原田写真場、(尙)堤酒店、山本屋、14期 吉川 厚重、ラ・ベレッツァ 19期 上野真裕、(尙)アルファシステムサービス、(尙)クリエイティブ・シモン、(尙)坂本食糧、企画屋 16期 上村元三、ちやおず、鳥生、35期 佐土原 熊本めくみの園・パラ園、35期 佐土原 護、(尙)重建、BORDER、(尙)フレンド 杉野、オートウイング 津川信行、アペ美装、ネオスタイル 益田、司法書士 毛利健太郎、(尙)原田建設 原田、大塚土地家屋調査士、花畑吟魚こんや、食堂ままかり、ハコニワ、(尙)モリシマ、喜楽、かやのき、ツーセカンド、アトム開発、ひのくに弁護士、早川商会、ワンスフィールド、三五、ナイスブレンド珈琲、SPORTS BAR ゴング、(尙)コスギ不動産 小杉康之、Feliz hair and clothing、乙女の隠れ家、ポポラ大橋、LOVE GLOSS、浜焼太郎、旨肉食堂ホルモンマン、41期一同、ホテル日航熊本、浅草屋、間染工場、慈愛園 子供ホーム、慈愛園 老人ホーム、慈愛園 ケアハウス、慈愛園 老人ホーム互助会、介護老人施設 湧心苑、特別養護老人ホーム 画図重富苑、熊本学園大付属高校同窓会 紫紺会、丁子屋、櫻同窓会長、志文会、5期 原武博之

※名称の誤り等ご容赦願います

(文責：飾馬奉納委員会)

1月27日



関東や関西、福岡支部など全国各地から同窓生や来賓など関係者450人が出席した新春大同窓会（ホテル日航熊本）

2月22日



経済同友会による奨励賞授与式。在校生のボランティア活動など善行を称え、毎年開催している恒例行事になっている（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）

3月1日



会報28号発行。委員会、支部、スポーツOB会の活動ほか、各界で活躍する同窓生紹介のページを充実させるなど、2017年度の活動報告をまとめた

5月17日



不動産業者で組織する「宅建紫紺会」の創立30周年記念パーティー。関係者92人が出席した（熊本ホテルキャッスル）

5月28日



経済同友会による「年祝いの会」。こちらも毎年の恒例行事となっており、当日は会員5氏の古希、還暦、厄晴れを祝いながら活発に交流した（松屋本館）

6月30日



紫紺会有志で開催した木下顕前会長の黄綬褒章受章祝賀会。塗装業界一筋で業界の発展に貢献した功績が評価され、2018年春の褒章を受章した木下前会長を祝おうと、同窓生ら100人が出席した（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）

8月18日



青年部委員会と経済同友会のコラボで2回目の開催となる若手会員の開拓を狙った交流会。同窓生約50人が参加し、バーベキューを楽しんだ（江藤ボートハウス）

9月16日



「ドーカイ、ドーカイ」。威勢のよい勢子たちの掛け声とラッパや太鼓などを鳴らしながら行進する「藤崎八幡宮秋季例大祭」。嶋村拓二郎隊長率いる41期生が担当期を務め、大いに盛り上がり、無事奉納を終えた

9月27日



「紫紺文庫の会」（木村洋一郎会長）による寄付金の目録贈呈式。同会は中学・高校図書館の充実を目的に紫紺会の有志で発足し、同窓生から寄付金を募り集まった70万円を贈った。写真は堤豊校長（左）と木村洋一郎紫紺文庫の会長（高校校長室）

10月26日



「飲食店マップ」の発行をきっかけに定期的で開催している飲食店巡り。写真は北川博章さん（29期）が、藤崎宮近くで経営している日本料理店「表参道 きた川」で

11月8日



4回目の開催となった100%代表幹事会。1期生から57期生までの代表幹事が一堂に会し、次年度の事業などについて意見を交換した（高校多目的ホール）

12月13日



役員と各期代表幹事による忘年会。酒を酌み交わしながら1年の労をねぎらった（壱之倉庫）

創立60周年にあたって

我が母校、熊本学園大学付属高等学校は今年で創立60周年、人間で言えば還暦を迎えます。この記念すべき年を祝おうと様々な行事を計画・検討中ですが、その一部を会員の皆様にお知らせ致します。尚、内容に関しては検討中のものも含まれていますので、詳細が分かり次第代表幹事会やホームページ等で公開してまいります。

1. 記念式典

9月26日（木）は以下の記念行事が執り行われる予定です。

行 事	内 容	時 間	場 所
(1)記念式典	創立60周年記念式典	9:30～10:50	高校体育館
(2)記念シンポジウム	テーマ：「学付の現在・過去-そして未来」	11:00～12:00	高校体育館
(3)記念コンサート	60周年記念オーケストラによる公演	13:30～15:30	熊本県立劇場
(4)記念祝賀会	紫紺会主管の祝賀会	19:00～	ホテル日航熊本

2. 創立60周年記念誌の発行

母校と共に歩んできた「紫紺会」ですが、創立60年を記念して同窓会記念誌「紫紺会60年の歩み（仮題）」を発刊することとなりました。懐かしい写真と共に振り返る年表や紫紺会創設時の苦労話を語ってもらう座談会、女生徒制服の誕生秘話、そして会員からの寄稿文等、盛り沢山の内容を検討しています。この記念誌は紫紺会年会費を納入頂いた皆さんに無償で送付する予定です。発行部数の関係もありますので、郵便振替・コンビニ払いの方は、本年度内（12月末まで）に納入頂いた方に限定させて頂きます。発送は年内を予定していますので、早めの納入をお願い致します。

尚、発刊に際しましては企業広告・個人広告を受け付けております。皆さんの善意で成り立つ記念誌ですので、ご協力を切にお願い致します。広告は記念誌に掲載させて頂きますので、印刷の都合上、8月末までに各期代表幹事にお申し込み下さい。

3. 「紫紺の絆寄付金」制度について

紫紺会会員の皆さんには、今まで10年ごとの周年事業に多額の寄付金を頂いておりましたが、今回は学校側から生徒に「寄付者に対する感謝の気持ち」を持って欲しいとの意向で、「紫紺の絆寄付金」制度を開始することになりました。今回は生徒が使うパソコンに寄付者の名前・卒業期を印刷したシールを貼付することで、寄付者の「顔が見える寄付金」を実現しようというものです。応募方法等の詳細は別紙をご覧頂き、一人でも多くのご協力をお願い致します。

熊本学園大学付属中学・高等学校同窓会 紫紺会会長 長野 英子
60周年実行委員長 木村 光男

※創立60周年記念行事、記念誌のお問い合わせは

紫紺会事務局 TEL/FAX 096-371-9333 メール:shikon@lime.plala.or.jp 事務局 上坂

—未だ、旅の途中—



タイでレストラン経営

甲斐 周作 (15期)

私は旅が好きです。トルコ、ブルガリア、ルーマニア、ウクライナ、中国、ベトナム、ラオス、タイ・・・。一人で、のらりくらりとほつき歩きますが、観光スポットには足が向かず、路地裏や市場をふらふら歩きます。気に入った場所には1週間、1ヶ月と滞在することも結構あります。

そんな私が気に入った場所の一つがタイのサムイ島です。15km四方の丸い島で、飲食店、ビアバーなどのナイトスポット、土産物屋が多く、欧米人に人気のリゾート地です。海と砂と、暖かい気候がたまらなく良く、月単位で部屋を借りて、海辺まで歩き、そして、毎日1km位泳ぐ。腹が減ったらタイ飯を喰らい、たまにはバーにビールを飲みに出かける。そんな楽しみがここにはあるのです。「水泳の楽しみ」、「タイ飯の楽しみ」、「散策の楽しみ」、そして、「適度にビキニのお姐さんを鑑賞する楽しみ」も加えなければ嘘になりますね(笑)。探せば、「バーのお姐さん方を遠目で眺め

る楽しみ」だとか、もつと出て来るとしよう。自分が気付かないだけで、色々な楽しみを隠しているのかもしれないね。ビーチリゾートの楽しみ方は人それぞれだと思います。高級リゾートで豪華に、リフレッシュして、さつと戻るのも当人の事情に則した効果的な利用法だと思っています。旅には当然、動機があります。ある意味、犯罪と同様だと思えます(動機なき犯罪も無い訳ではないですが)。「つい、ふらつと」も



自身が経営するタイのレストランで料理を振る舞う甲斐さん

「ふらつと」したい何か、背中を押すものです。自分の裡でその動機の解明が進めば、旅を操る事が出来るようになるかも知れません。まさに、生活の大部分を占める日常が、旅(非日常)に変化する瞬間です。視点を換えれば、通勤、通学の道筋さえ、旅に変わる可能性を秘めていると思います。みんな「こんな日常をどうにかしたい」と思っていると思います。そしてどうにもならず、「よし、旅に出よう」も少なからず、ある事ではないでしょうか。私の場合、「タイ飯の楽しみ」が生きる上で

母校とフランスに育まれた自由の精神



ヴォーカリスト/ピアニスト

古瀬 里恵 (39期)

必要不可欠か?と問うと、どうやら違うみたいです。「理由の後付け」のような気がしてなりません。そんな私が旅の途中だったのにも関わらず、このサムイ島に日本食レストランを始めて9年。いつしか、4軒のレストランのオーナーになりました。オーナーをしながら、ここサムイ島を拠点にふらふらと、旅は続いています。今年にはジュネーブとヤンゴンに出店する計画です。私の旅は未だ終わりません。

今思えば、熊本学園大学付属高校の校風は、現在活動拠点としているフランスの、「自由の尊重と同時に責任感を養う社会」に似ており、私自身にすくく合っていたと感じます。そんな校風にも恵まれ、私に真摯に向き合ってくれた個性豊かな先生方から沢山のことを教わりながら、クラスメイトと楽しく過ごし、とても充実した

学生時代を過ごしたことを今でも鮮明に覚えています。特に、修学旅行先を自分達で選択出来るというユニークなプログラムや、当時流行っていたルーズソックスで生活できる自由な雰囲気(当時はルーズソックスが許可されていた?)熊本唯一の高校だったと記憶しております)がとても好きでした。最近でも学付OB OGの方



日本公演の様子(11月9日 くまもと森都心プラザ)

にお会いする機会がありました
が、皆さん、個性豊かで自由な発
想を持っていると同時に責任感や
団結力が強い方が多いように感じ
ます。
紫紺会は、熊本県内の数ある同
窓会の中でも特に活動が活発で知
られる会と伺っています。これか
らも母校で育んだ自由の精神を熊
本県内外に向けて存分に発信して
いただき、素晴らしい紫紺の輪が
広がっていく事を願っております。
今後とも紫紺会と母校の益々
の発展、皆さまのご健勝、ご多幸
をお祈り申し上げます。



♪プロフィール

3歳より姉の影響でエレクトー
ンを習い、7歳でピアノに転向、進
学で上京する18歳まで続ける。熊
本学園大学附属高校を卒業後上
京、獨協大学外国語学部フランス
語学科卒業。在学中にジャズに出
会ったのをきっかけにジャズ
ヴォーカリストとして活動を開
始。ダンスミュージック・グループ
「Ona(シック)」の元メンバー、
ティールヴァ・グレイに師事した後、
2009年に渡仏、パリを拠点に
グローバルな活動を開始。これま
でにフランスはもとよりアジア、イ
ギリス、ヨーロッパ、アメリカ、中
東で演奏する。2010年、ベトナ
ム・ホーチミン市で行われた48
Hour Live Projectにて、自身の楽
曲を提供した短編映画が最優秀音
楽賞を受賞。2018年、パリで活
動するミュージシャンと共に
The PURUSE Trio 初のアルバム
「Samba」を発表、同年に日本ツ
アー(在日フランス大使館公演)を
行う。熊本民謡をジャズにアレ
ンジするなどオリジナリティあふれ
る音楽スタイルを確立。熊本市が
フランスのエクサンプロバンス市
と姉妹都市になって以来、日仏文
化交流にも力を入れている。



サッカーの“絆”、人との“繋がり” が生んだ復興支援



立教大学2年

高山賢太郎(56期)

学付での3年間は、今振り返つ
ても非常に有意義でした。私は部
活ではなく、Jリーグ・ロアツソ
熊本のユースチームに所属してい
まして、レベルの高い学業や学校
生活との両立で大変な事が多かつ
たですが、何とか乗り越えた事を
覚えています。卒業後は立教大に
進学しました。

私は高3の時、熊本地震に遭い
ました。本当にショックでしたし、
どうにもできない自然災害への憤
りや憎しみを感じました。ただ、
中高時にロアツソ熊本のアカデミ
ーに所属していたこともあり、私
には全国各地に多くのサッカーフ
ァミリーがいます。そんな彼らが
地震の時にくれた励ましの言葉や
電話が大きな励みになりました

し、改めてサッカーの力に絆を実
感しました。この経験は自分だけ
からこそのもんという思いや今後
に何かしらの教訓として残せるの
ではと思っていた矢先の上京前、
熊日新聞の「私と熊本地震」手記
募集を発見!その時、書く事への

使命感に駆られ書いたことを覚え
ています。一昨年夏に新聞へ掲載
された手記は熊本県の道徳副読本
にも掲載され、県内全中学生向け
の教科書の一部に採用されまし
た。

もうすぐ大学3年ですが、幼い
頃から続けてきたサッカーは現在
も約160人がいる立教大の体育
会サッカー部で、週6日で活動し
ています。本当にレベルが高く、
全国各地から高校選権で優勝す
るチームやJリーグの強豪ユース
チームの選手らが集まっていま
す。サッカーともう一つの柱とし
て、前述の手記を投稿してから「熊
本のために」という趣旨で、様々
な活動もしています。これが復興
支援活動に当たる部分です。ちょ
うど私の所属するコミュニティ政
策学科があるコミュニティ福祉学
部には復興支援室があり、そこに
当時おられた先生が偶然、熊本に
被災地支援に行った際、熊本の先
生と一緒に手記を見てくれていた
事が、被災地支援のきっかけでし

た。この学科は被災地支援もテー
マに学んでいますので、今の復興
支援活動に繋がってきます。実際
に支援室におられた方との繋がり
で、大津町の避難所を訪問させて
いただき、関東では地震を風化さ
せないためのスライドを使った経
験談や防災的な観念の講演機会を
現在も多くいただいています。さ
らに学付中での講演や今年1月5
日には嘉島町総合運動公園で復興
支援プロジェクトのサッカー教室
も開き、ロアツソ熊本の選手や大
学生スタッフの指導で県内小学生
約50人が集まりました。

人との出会いや繋がりは生きる
中でかなり大切にしており、何よ
りの財産だと思っていますので、
今後も「誰かのために、何かのた
めに」という精神を忘れず、将来
は多くの人とのつながりを生かし
ながら働
きたいと
思ってい
ます。同
窓の大先
輩方、ぜ
ひよろし
くお願ひ
いたしま
す!



今年1月5日に嘉島町総合運動公園で開いた復興支援プロジェクトのサッカー教室。県内小学生50人が集まった

2019年度年度収支予算 2019年1月1日～2019年12月31日

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	1,000	1,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
②受取入金	3,700,000	3,700,000	0
入金収入	3,700,000	3,700,000	0
③受取会費	3,000,000	3,000,000	0
年会費収入	3,000,000	3,000,000	0
④事業収益(大同窓会)	11,200,000	5,000,000	6,200,000
懇親会費(大同窓会)	2,800,000	2,800,000	0
現役部活動助成(事業活動委員会)	1,000,000	1,000,000	0
事業収入(事業活動)	1,000,000	1,000,000	0
飲食店マップ広告収入	0	0	0
広告収入	200,000	200,000	0
60周年記念祝賀会	4,000,000		
60周年広告収入	2,200,000		
⑤補助金等収入	0	0	0
受取寄付金			
補助金等			
事業活動収入計	17,901,000	11,701,000	6,200,000
2 事業活動支出			
①事業費	12,515,000	6,365,000	6,150,000
広報・情報委員会	2,400,000	2,400,000	0
事業活動委員会	1,600,000	1,600,000	0
女性部委員会		250,000	▲ 250,000
青年部委員会	250,000	250,000	0
財務委員会	165,000	165,000	0
飾り馬奉納支援金	100,000	100,000	0
紫紺経済同友会	100,000	100,000	0
クラブ奨励金	300,000	300,000	0
卒業記念品費	600,000	600,000	0
特別活動事業費			
会費納入アップ委員会		300,000	▲ 300,000
所在不明者簡状プロジェクト		200,000	▲ 200,000
60周年準備プロジェクト		100,000	▲ 100,000
60周年記念祝賀会	4,000,000		4,000,000
60周年記念誌	3,000,000		3,000,000
②会議費	1,800,000	1,800,000	0
総会費	1,500,000	1,500,000	0
代表幹事会費	300,000	300,000	0
③管理費	1,900,000	1,900,000	0
事務局費	700,000	700,000	0
事務局要員費	600,000	600,000	0
学年同窓会開催支援金	100,000	100,000	0
会員名簿委託管理料	20,000	20,000	0
新聞広告印刷費	100,000	100,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
慶弔費	100,000	100,000	0
雑費	130,000	130,000	0
事業活動支出計	16,215,000	10,065,000	6,150,000
事業活動収支差額	1,686,000	1,636,000	50,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
特定資産(指定正味財産)の取得			
奨学金事業引当資産繰入(定期預金)	600,000	600,000	0
記念事業引当資産繰入(定期預金)	500,000	500,000	0
新校舎建設寄付事業引当資産繰入			0
投資活動支出計	1,100,000	1,100,000	0
投資活動収支差額	▲ 1,100,000	▲ 1,100,000	0
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III予備費支出			
予備費	100,000	100,000	0
当期収支差額	486,000	436,000	50,000
前期繰越収支差額	7,477,940	6,135,712	1,342,228
次期繰越収支差額	7,963,940	6,571,712	1,392,228

紫紺会 2019年度事業計画 (2019年1月～2019年12月)

月	日	曜	行 事	場 所	時 間	主 な 内 容 等	担 当
10	木		代表幹事会		19:00～20:00		代表幹事会
17	木		決算・会計監査				財務委員会・監事
26	土		通常総会	ホテルキャッスル	18:00～19:00	18年度活動報告、決算報告、19年度活動計画・予算案	代表幹事会・事務局
			新春大同窓会	#	19:00～21:00	年頭のご挨拶、奨励賞授与	事業活動委員会
2	土		関東紫紺会総会・交流会	新大塚(新大塚)	18:00～	会報「紫紺」第29号発行	事業活動委員会
13	水		役員会	パリア会議室	19:00～20:00		事務局
			伊藤大守(川崎中) 高等学校訪問式				経済同友会
2	土		紫紺会入会式				事務局・広報委員会
13	水		代表幹事会	パリア会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			お花見の会				事業活動委員会
			福岡紫紺会花見				事業活動委員会
10	水		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			第11回親睦ゴルフコンペ				青年部
			経済同友会役員会				経済同友会
8	水		代表幹事会	パリア会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			現役部活生激励会				事業活動委員会
			経済同友会総会・年祝いの会				経済同友会
			五校合同経済同友会スポーツ例				経済同友会
12	水		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
15	土		紫紺会年祝いの会	ANAクラウンプラザホテル横浜エクスプレス	18:30～20:30	喜寿(1期)、古希(8期)、還暦(17期)	事業活動委員会
10	水		代表幹事会	パリア会議室			代表幹事会
			紫紺会関西支部との交流会				事業活動委員会
7	水		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			青年部若手交流会				青年部
			経済同友会例会				経済同友会
			飾馬 馬番抽選				飾馬奉納実行委員会
			飾馬 慰問				飾馬奉納実行委員会
11	水		代表幹事会	パリア会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			飾り卸				飾馬奉納実行委員会
			藤崎宮秋季例大祭				飾馬奉納実行委員会
26	木		創立60周年記念式典	高校体育館	9:30～10:50		60周年実行委員会
			創立60周年記念シンポジウム	高校体育館	11:00～12:00		—
			創立60周年記念コンサート	県立劇場	13:30～15:30		—
			創立60周年記念祝賀会	ホテル日航熊本	19:00～		—
			各支部OB会懇談会・懇親会				事務局
			創立60周年記念誌発行				60周年実行委員会
9	水		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			五校合同経済同友会例会				経済同友会
			第12回親睦ゴルフコンペ				青年部
			母校を訪ねて				青年部委員会
13	水		100%代表幹事会・懇親会	パリア会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			経済同友会役員会・忘年会				経済同友会
			福岡支部忘年会				事務局
4	水		役員会・役員忘年会		19:00～21:00		代表幹事会・事務局
			クリスマスプレゼント贈呈式				青年部

会費納入のお願い

昨年も同窓会活動は活発に展開されました。これも同窓生の皆様によるご協力のたまものと感謝申し上げます。活動には、最低限の資金を必要とし、皆様の会費によって支えられている事をご留意いただき、どうか早めの会費納入をお願いいたします。

- 会 費 3,000円
- 納 期 早目の納入をお願いします。
- 納入方法 同封の郵便振込用紙にてご送金いただくか、下記口座に直接お振込下さい。

【お振込先】

※郵便払込用紙を同封しております。銀行振込の口座番号は下記の通りです。なお、銀行口座引き落としをご利用の方は新たに振込みの必要はありません。

- ・ 肥後銀行 県庁支店 普通口座 口座番号 1303908
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・ 熊本銀行 水前寺支店 普通口座 口座番号 0259310
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・ 熊本第一信用金庫 本店営業部 普通口座 口座番号 946549
熊本学園大学付属高等学校同窓会紫紺会

編集後記

同窓会報「紫紺」は今回で第29号の発行となりました。本年も会報誌発行にご協力をいただいた同窓会や高校関係者の方々に、心より感謝申し上げます。

おかげさまで本号より、念願のカラー化が実現しました!!!また平成最後の発行となった本号は、高校創立60周年記念号として、今まで以上に企画・編集作業に手間をかけて取り組み、特別号にふさわしい会報が出来たと、広報委員一同、大変うれしく思っています。さらに本年は高校創立60周年記念誌の発行が決まりました。微力ながら広報委員も編集に関わらせていただきますので、こちらも発行をお楽しみに!また会報誌と合わせ、日頃より、紫紺会のホームページやフェイスブックもご覧いただき、誠にありがとうございます。今後も「広報活動は紫紺会が一番!」と言っていただけ、同窓会の“今”を分かりやすく、そして力強く、伝え続けて参ります。

熊本地震から3年、そして平成から新しい元号へ。紫紺会の皆さま方にとって、健やかな新しい時代の幕開けになりますよう、心よりお祈りいたします。(島)